

2015年10月29日

各 位

オリックス株式会社  
(コード番号: 8591)

**2016年3月期 第2四半期連結決算**  
**当期純利益は前年同期比14%増の1,613億円、6期連続増益**  
**～営業収益、当期純利益ともに過去最高額を更新～**

2016年3月期第2四半期(2015年4月1日～2015年9月30日)の米国会計基準連結決算において、営業収益は前年同期比22%増の11,702億円、税引前当期純利益は同25%増の2,507億円、当期純利益は同14%増の1,613億円となりました。

なお、第2四半期累計期間の当期純利益では、6期連続で増益となり、営業収益および当期純利益ともに過去最高額を更新しました。

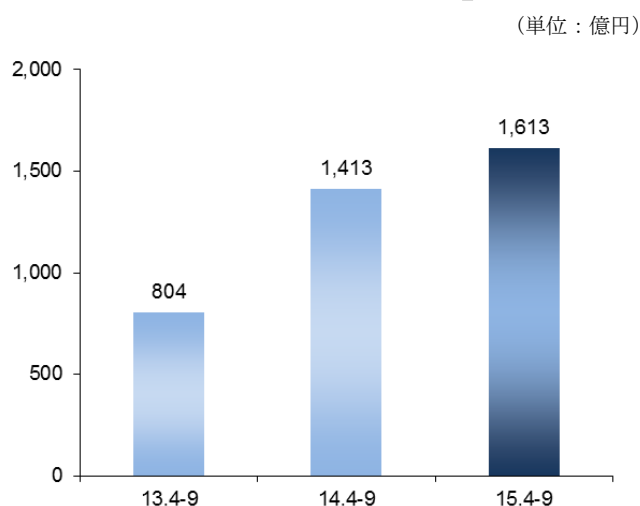
■ 主な経営指標の推移

	2014. 4-9	2015. 4-9	増減率
営業収益	9,556 億円	11,702 億円	22%
税引前当期純利益	2,011 億円	2,507 億円	25%
当期純利益 ※	1,413 億円	1,613 億円	14%
株主資本当期純利益率 (ROE: 年換算) ※	14.3%	14.7%	—

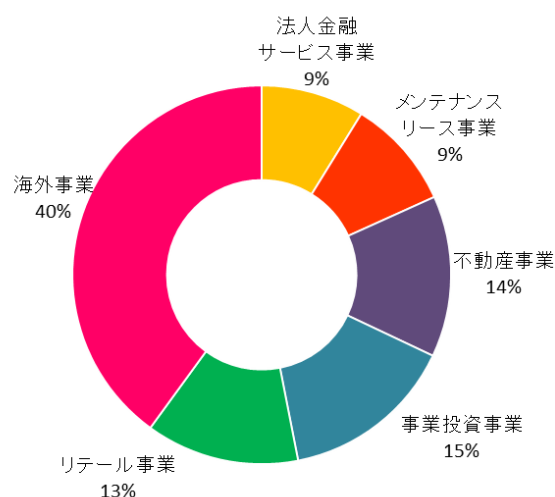
	2015. 3	2015. 9	増減率
総資産	114,436 億円	110,806 億円	▲3%
セグメント資産	91,702 億円	87,660 億円	▲4%
株主資本 ※	21,522 億円	22,492 億円	5%
株主資本比率 ※	18.8%	20.3%	—

※「当期純利益」「株主資本」は、決算短信などの財務諸表で記載している「当社株主に帰属する四半期当期純利益」「当社株主資本合計」を記載しています。「株主資本当期純利益率(ROE: 年換算)」「株主資本比率」は、当該株主資本合計を用いて算出しています。

『当期純利益の推移』



『当第2四半期のセグメント利益内訳』



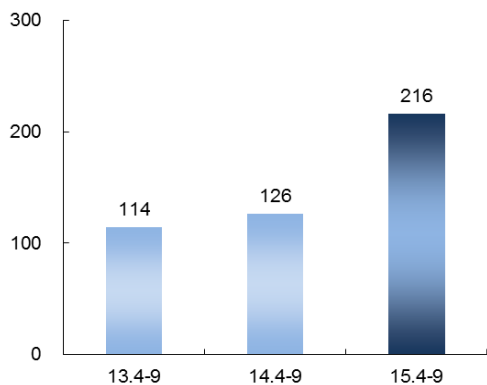
## ■ 各セグメントの業績概要（2015年4月1日～2015年9月30日）

当第2四半期は、前年同期と比較すると、「海外事業部門」「事業投資事業部門」「不動産事業部門」および「法人金融サービス事業部門」の利益が大きく伸長しました。加えて「メンテナンスリース事業部門」が堅調に推移しました。

### 【法人金融サービス事業部門】

融資、リース、各種手数料ビジネス

<第2四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

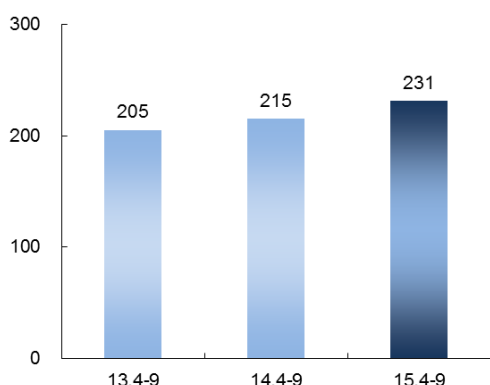


- ・ 昨年 12 月に買収した弥生の利益貢献に加え、生命保険販売などの法人向け各種手数料ビジネスからの利益が順調に増加。
- ・ 当第 1 四半期に投資先の株式売却益を計上。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 71%増の 216 億円を計上。

### 【メンテナンスリース事業部門】

自動車リース、レンタカー、カーシェアリング、電子計測器・IT関連機器などのレンタルおよびリース

<第2四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

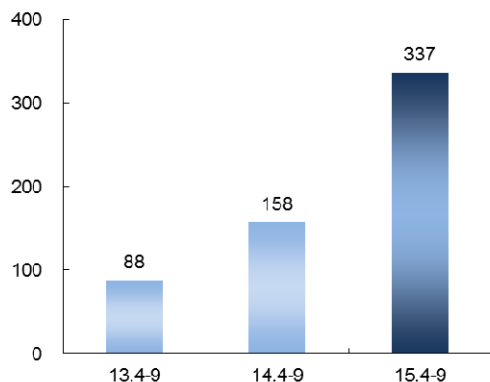


- ・ 自動車事業のリース資産が順調に拡大したことにより、リース収益が増加。
- ・ 車両管理などの付加価値サービスの収益も増加し、高収益性を堅持。
- ・ セグメント利益は、前年同期比 7%増の 231 億円を計上。

### 【不動産事業部門】

不動産開発・賃貸・ファイナンス、施設運営、不動産投資法人（REIT）の資産運用・管理、不動産投資顧問

<第2四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

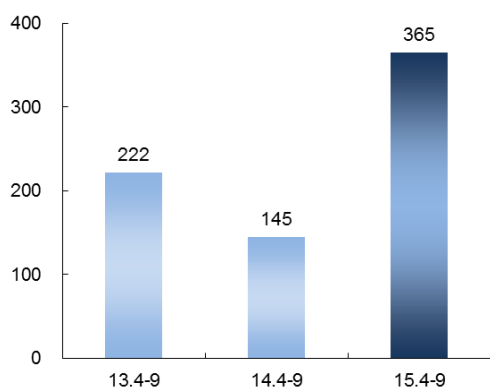


- ・ 賃貸不動産売却益、およびホテル・旅館などの運営事業によるサービス収入が増加。
- ・ 資産残高の減少および保有資産の評価損減少に伴い、セグメント費用が減少。
- ・ セグメント利益は、前年同期比約 2.1 倍の 337 億円を計上。

## 【事業投資事業部門】

環境エネルギー、プリンシパル・インベストメント、サービサー（債権回収）

<第2四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

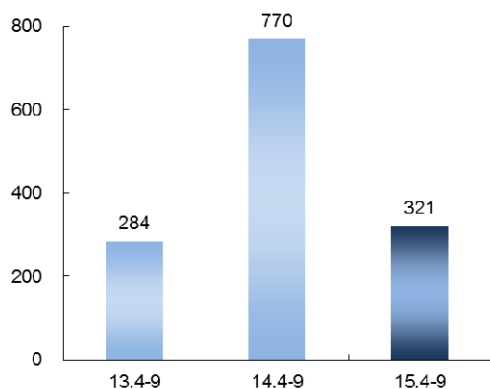


- ・投資先からの収益や投資先の株式売却益、ならびに大京のマンション引渡し戸数が増加。
- ・環境エネルギー事業の収益が順調に推移。
- ・セグメント利益は、前年同期比約 2.5 倍の 365 億円を計上。

## 【リテール事業部門】

生命保険、銀行、カードローン

<第2四半期累計セグメント利益>（単位：億円）

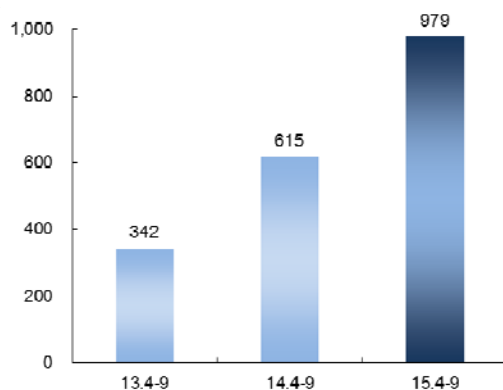


- ・生命保険の保有契約件数の増加により保険収益が順調に伸長。
- ・前年同期は、マネックスグループの株式売却益（約 150 億円）およびハートフォード生命買収に伴うバーゲン・パーチェス益（約 360 億円）を計上。
- ・セグメント利益は、前年同期比 58%減の 321 億円を計上。

## 【海外事業部門】

リース、融資、債券投資、投資銀行、アセットマネジメント、船舶・航空機関連

<第2四半期累計セグメント利益>（単位：億円）



- ・ロベコのアセットマネジメント収益や米州の金融収益、およびアジアにおける有価証券売却益が増加。
- ・Houlihan Lokey, Inc. の新規株式公開に伴う株式売却益と評価益を計上。
- ・セグメント利益は、前年同期比 59%増の 979 億円を計上。

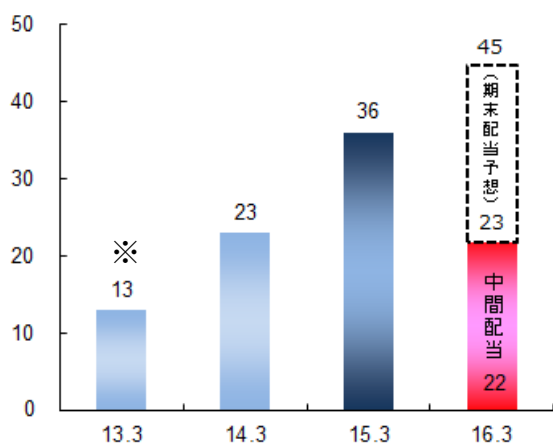
## ■ 当期の中間配当金および期末の配当予想について

当期より初めて中間配当を実施し、年2回（中間・期末）の配当を予定しています。当期の1株当たり中間配当金は、期初に公表した予想額のとおり22円とすることを本日開催の取締役会で決議しました。

また、利益成長を踏まえて、当期の1株当たり期末配当金の予想額は23円とし、通期での配当予想額は、前期の36円から9円増配し、前期比25%増の45円といたします。

### 『1株当たり配当金の推移』

(単位：円)



※ 2013年4月1日付で1株につき10株の割合をもって株式分割を行いました。2013年3月期の配当金についてはそれを考慮して記載しています。

オリックスグループは、事業ポートフォリオの分散による事業展開を軸としながら、中期的な経営目標として“非金融事業の拡大”による利益成長を掲げています。オリックスグループの強みと専門性を生かしながら、「既存事業の成長」と「重点分野への新規投資」を推進し、目標とする経営指標として、2018年3月期の当期純利益3,000億円の実現を目指してまいります。

詳細は、当社ホームページにて掲載の決算短信および決算補足資料をご覧ください。

URL : <http://www.orix.co.jp/grp/ir/settlement/>

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

グループ広報部 藤井・堀井・中村 TEL : 03-3435-3167